

# 火災・事故防止に資する防災情報提供シート

防災情報の種類：火災、爆発、**漏洩**、その他

No. 030809005

件名： コンテナヤードに於ける輸入貨物漏洩の件

## 【事象概要】

本件は横浜本牧コンテナヤードにて中国よりの輸入貨物が漏洩した事故である。

平成18年9月6日深夜、コンテナヤードにて異臭がするのを作業員が発見した。深夜の為、漏洩コンテナは特定できず、早朝より確認の結果、コンテナを特定できた。

貨物は中国より輸入された塩化ベンジルで20FコンテナにIBC容器にて18個バン詰めされていた。(IMO法上：毒物、消防法上：第4類第2石油類)

ヤード内荷役を止めると共にコンテナを安全な場所に移動し消防機関へ通報した。午前9時に消防隊第1陣が到着し、中和剤である水酸化ナトリウム水溶液の手配を行なった。該当する水溶液の手配に若干の時間を要したが、消防隊により水溶液を散布しながらデバンを実施、漏洩IBCを確認、当日夜作業は終了した。

## 【参考写真】



## 【事象の原因】

容器は1000ℓのIBC容器でUN規格で製造されていた。

コンテナ内2段積みの積み付けの2段目に当該容器があり、固縛方法に問題があったものと推測される。

## 【再発防止対策】

- ①事故発生を想定した各社の緊急連絡網の整備
- ②中和剤、吸収剤等応急措置が出来る資機材の確保
- ③広域相互救援体制の構築
- ④行政機関と情報等の相互共有

